

かいギカイのアンケートを実施
します。15Pをご覧ください。



甲斐市議会だより

2025.10.25 No.85

かいギカイ

令和7年10月25日発行
★議会活動をわかりやすくお伝えします

今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2ページ
令和7年 第3回定例会	4ページ
こんなことが決まりました	5ページ
令和6年度 決算	8ページ
主な使い道は次のとおりでした	9ページ
予算要望書はいかされた？	10ページ
ここが聞きたい 一般質問	11ページ
行政視察を受け入れました	14ページ



表紙写真：9月23日の手話言語の日に合わせてブルーに
ライトアップされたドラゴンパークの展望塔

緑と活力あふれる生活快適都市

特集 輝く仲間たち (第23回)

毎回、市内でがんばる方々に登場していただきます。
今回は、手話サークルの「とまとの会」です。

手話を通じて 全ての人たちが 楽しめる場所 とまとの会

とまとの会ができたきっかけは

市では毎年「甲斐市手話奉仕員養成講習会」を開催しており、これまでもたくさんの方の修了生を輩出してきました。平成24年に修了生が更に手話を学ぶ場を希望し、甲斐市聴覚障害者協会に相談したところ、平成25年に協会に手話学習部が立ち上がったのがキッカケです。翌年の平成26年4月、協会が「とまとの会」を設立し、甲斐市名産の「赤坂とまと」にちなんだ名称になりました。



どのような活動をしていますか

会員は約50名。月2回：第2・第4水曜日の夜7時から、竜王北部公民館で活動しています。聞こえない人・聞こえにくい人・聞こえる人が集まって、楽しく交流しています。会員の手話学習の経験年数はまちまちなので、手話だけではなく身振り手振りを使ってコミュニケーションしているのも「とまとの会」の特徴です。

月2回の活動はまず、手話を使い全身で表現する「手話体操」でウォーミングアップ。手話を覚えながら会員の皆さんは全力で身体を動かすので、夏は汗ばむほどの全身運動です（笑）。

手話体操で頭と身体がほぐれたあとは、季節や話題になった出来事をテーマにして一人ひとり発表します。今年11月に開催される「デフリンピック」にちなんで「私が好きなスポーツ」や「暑い夏に食べたいモノ」など、自由に発表し、みんなで単語を確認しながら手話を覚えます。



少人数に分かれてのグループトークは、聞こえない人の文化や生活を教えていただく場にもなっています。ろう学校の様子や運転免許を取得した時の話など、聞こえない人の経験をお話しいただくことで、理解を深めることができます。

定期開催に加え、聴覚障害者協会ご担当の楽しい講座、通訳部が企画する学習会も毎回とっても勉強になります。

また、聴覚障害者協会主催の“秋の旅行”や“ボウリング大会”“忘年会”など、様々な楽しいイベントに参加して盛り上がっています。

今年も9月23日の『国際手話言語デー』『やまなし手話言語の日』に合わせてラザウォークで「手話言語」の理解を深める活動を行いました。

ドラゴンパークではいつもは黄色のライトが照らされている展望塔も、ブルーでライトアップしてみんなでお祝いしました。

今後の活動予定は



コロナ禍前までは「手話劇発表会」を毎年開催していました。会員が3つのグループに分かれて「あーしよう！こーしよう！」とゲラゲラ笑いながら手話劇の内容を考え、少ない予算の中で小道具・大道具を製作し、本当にとっても楽しかったです。ぜひ！また「手話劇」ができるの良いなあと考えています。

そして現在は月2回の活動ですがなかなか参加できない会員向けに、日中に「ひるまのとまと」を開催し、交流の回数を増やしていきたいと準備しています。

聞こえない人と聞こえる人の交流の回数が増えれば増えるほど、更にお互いの理解が深められると考えています。

会のアピールできる場所は？

小学生から人生のベテランさんまで、幅広い年齢のメンバーが手話を通じて交流できるのが「とまとの会」の自慢です！

甲斐市聴覚障害者協会で「とまとの会」を設立してから11年。少しずつ手話が甲斐市・地域の方々に広まってきていることを実感しています。



今後の目標は？

今後も聞こえない人と聞こえる人が交流し、ともに学び合い、私たちの活動が社会貢献へつながることを目指します。

そして「とまとの会」は甲斐市聴覚障害者協会の皆さんとともに、これからも「手話言語」の理解を深めるために学び、活動して行きます！



令和7年第3回定例会

定例会のあらまし

第3回定例会は、9月12日から10月3日の22日間の会期で開かれ、市長から補正予算および条例の制定など39議案が提出されました。
今定例会の一般会計の補正予算額は1億4,569万円で、主な内容は定期人事異動に伴う減額や釜無川レクリエーションセンターの廃止に伴う施設の解体工事設計や敷島北小学校の受変電設備新設工事にかかる増額などで、すべて原案のとおり可決されました。

教育委員会委員の任命

任期満了（令和7年11月2日）に伴い、次の方の任命に同意しました。（敬称略）

・米山 祐希

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了（令和7年11月2日）に伴い、次の方々の選任に同意しました。（敬称略）

・加々美 英・生山 勝・長谷川 秀明

人権擁護委員候補者

任期満了（令和8年3月31日）に伴い、次の方々の推薦に対し、同意しました。（敬称略）

・中村 栄一・保坂 和也・大舘 友子

請願審査結果

受付番号	件名	提出者	紹介議員	議決結果
請願第7-1号	訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願書	山梨県社会保障推進協議会 会長 梅北 和一 他4名	松井 豊 谷口 和男	採択
請願第7-2号	学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	甲斐市PTA連絡協議会 会長 小池 宣夫 他3名	滝川 美幸 若尾 彰子	採択
請願第7-3号	医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の再改定を求める請願書	山梨県社会保障推進協議会 会長 梅北 和一 他6名	松井 豊 谷口 和男	不採択

請願を採択したことに伴い、意見書を可決し、国へ提出しました。

請願第7-1号、7-2号は、衆議院参議院両議長、内閣総理大臣のほか各所管大臣へそれぞれ送付しました。

甲斐市議会だより(かいギカイ)では、第3回定例会の主な内容をピックアップして、掲載しています。また、議会ホームページで録画映像を配信していますのでこちらもぜひご視聴ください。



第3回定例会において 甲斐市のこんなことが決まりました

主な内容をピックアップしてお知らせします

釜無川レクリエーションセンターの廃止

議案第51号 甲斐市民温泉条例の一部改正の件
議案第53号 令和7年度甲斐市一般会計補正予算（第3号）

将来的な人口減少に伴う利用者減少が見込まれる中、永続的な多額の運営経費や築37年が経過した施設の大規模改修経費は、市の財政の大きな負担となります。また、民間事業者への利活用調査も行いましたが、立地条件や都市公園法に基づく用途制限など収益改善が見込めず、利活用は困難との見解でした。

一方で玉幡公園総合屋内プール施設整備計画策定に伴うサウンディング調査では、プール施設と温浴施設は相性が良いとの意見もあり、二つの施設を集約・複合化することにより利用者の利便性及び集客による収益性の向上、経費の削減が見込まれます。

このことから釜無川レクリエーションセンターについては玉幡公園総合屋内プールへ温浴機能の集約・複合化を図ることで廃止とします。なお、施設用地は県有地のため、廃止後は速やかに解体撤去に向けて進めていきます。



議案第51号 甲斐市民温泉条例の一部改正の件について討論がありました。

賛成討論

依田 那津希 議員

市民温泉3施設は、築後30年以上経過していることから、老朽化が進み継続するためには多額の改修費が見込まれます。また、施設の維持管理費等は、利用料収入では賸しきれず、市税等を投入し、管理を継続している状況であります。

このため、市民温泉3施設は、利用状況や費用対効果などを踏まえ、集約化を含めた施設の存廃などを検討する必要があることから、市は、甲斐市温泉施設事業運営検討委員会へ諮問し、その答申を受け、今後の在り方を検討し、これまでの過程について、その都度議会に報告してきました。

当施設は、多くの利用者に親しまれてきたことは承知しているが、利用者減少や維持管理費の増加などによる多額の市の費用負担が見込まれ、さらに、洪水ハザードマップにおいて、危険な区域にあるため、施設の修繕に多額の費用を投じることは避けるべきであると考え、賛成討論とします。

反対討論

谷口 和男 議員

本議案は、長年親しまれた釜無川レクリエーションセンターを廃止するものです。

反対理由の第一は、多数の廃止反対署名が集められ、令和6年第一回定例会では存続を思わせる報告にも関わらず、市民に対する説明会も無いことです。

第二に、老朽化に伴う改修費・維持管理費の増加を理由としているが、公共施設の寿命は概ね60年で、30年での大規模改修が推奨されるが、同施設は40年未満であり、配管・ボイラー・建物の一部改修で充分使用できることです。

第三に、玉幡公園総合屋内プール隣に代替温浴施設を建設するが、温泉ではなく、露天風呂もない魅力度と集客力に疑問があり、返って利用者の減少を招く恐れがあることです。

以上、釜無川レクリエーションセンターの改修存続が、一番経済的であり、市民の要望に沿っていることから反対討論とします。

しのはら公園子ども体験学習施設

議案第47号 甲斐市しのはら公園子ども体験学習施設条例の制定の件

甲斐市しのはら公園子ども体験学習施設は、子どもたちの心身の健やかな成長を目的に、過去に実施した計画策定のニーズ調査において要望の高かった「全天候型の屋内遊戯施設」のほか、「気軽に相談できる子育てひろば」、旧緑化センターの学習機能を継承した「緑を活かし、緑に親しむ学習施設」を中心に整備をしております。

甲斐市しのはら公園子ども体験学習施設条例で定めた設備や利用料金については以下のとおりです。

設 備	利用料金
屋内遊戯体験スペース	子ども200円、大人300円 (90分入れ替え制)
託児スペース (一時預かり)	500円 / 時間 最大3時間まで 定員最大5名
貸出利用施設 (体験学習室 A・B)	A 1,200円 / 2時間 B 2,600円 / 2時間



しのはら公園子ども体験学習施設の
詳細はこちら



マイナ保険証を活用した医療費助成の効率化

議案第53号 令和7年度甲斐市一般会計補正予算(第3号)

本市では、障がい者やこどもに係る医療費負担を軽減し、福祉の増進、こどもの健やかな成長を図ることを目的に医療費助成事業を実施しています。

国では医療DXの推進における取り組みの1つとして、マイナ保険証を活用した医療費助成の効率化をすすめるため、自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システム「PMH(Public Medical Hub)」を構築し、令和8年度から全国展開に取り組むこととしています。

これにより、従来の紙の受給者証を持参しなくても、マイナ保険証の提示によりオンラインで受給資格確認が行えるようになります。

本市においても、令和8年4月の運用開始に向け、準備を進めています。

1 対象となる医療費助成制度

①重度心身障がい者医療費 ②こども医療費 ③ひとり親医療費

2 事業開始時期

令和8年4月1日から運用開始。

3 問い合わせ先

①重度心身障がい者医療費：障がい者支援課

電話055(267)7287

②こども医療費 ③ひとり親医療費：子育て支援課

電話055(278)1692



使ってみよう!
マイナ保険証

住宅施策推進事業

議案第53号 令和7年度甲斐市一般会計補正予算（第3号）

山梨県では新たな人口減少対策として、理想の子ども数を実現できる住環境の整備を図るため、住宅取得等を支援する事業として、今年度から「子育て世帯住宅取得支援事業」と「やまなし KAITEKI 住宅普及促進事業」を実施することとなりました。内容は以下のとおりです。

○子育て世帯住宅取得支援事業

- 補助対象 婚姻後5年以内、世帯所得500万円未満、夫婦共に39歳以下、18歳以下の子育てを行う世帯
- 対象経費 住宅取得費用、住宅リフォーム費用、引っ越し費用
- 補助上限額 夫婦共に29歳以下の場合 60万円（中古住宅加算+30万円で、最大90万円）
上記以外の場合 30万円（中古住宅加算+30万円で、最大60万円）

○やまなし KAITEKI 住宅普及促進事業

- 補助対象 やまなし KAITEKI 住宅（リノベ）、／ ZERO、／ FORET の認定住宅取得者
※県内工務店施工物件に限る
- 補助額 やまなし KAITEKI 住宅 20万円（子育て世帯加算+20万円、リノベ加算+20万円で、最大60万円）
／ ZERO 20万円
／ FORET 20万円 30万円 40万円（県産木材の使用量による）

問い合わせ先 建築住宅課 055-268-2336



双葉ふれあい文化館天井耐震化工事

議案第63号 双葉ふれあい文化館天井耐震化工事（明許）請負契約締結の件

双葉ふれあい文化館の特定天井耐震工事は、文化ホールという多数の利用者が集う施設における吊り天井の耐震化を行い、利用者の安全性を確保するための工事です。次のとおり工事請負業者が決定しました。

工 事 名	双葉ふれあい文化館天井耐震化工事（明許）
契 約 先	甲信建設工業・中込建設 双葉ふれあい文化館 天井耐震化工事（明許） 共同企業体
契 約 金 額	1億7,985万円
工 事 期 間	令和7年9月25日から 令和8年7月31日まで

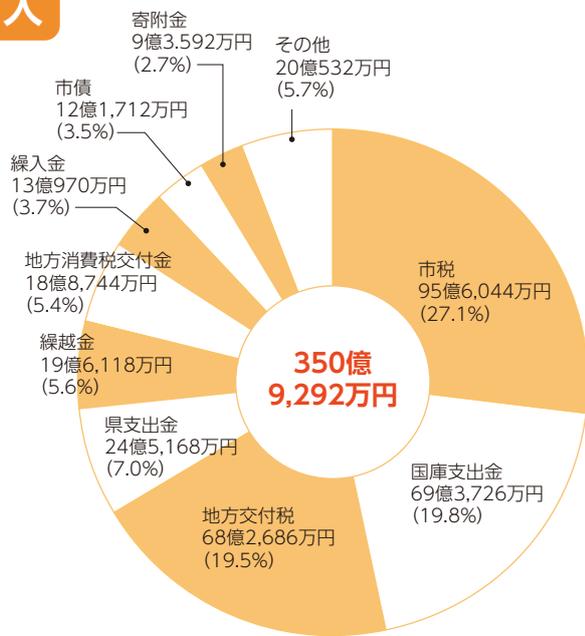


令和6年度 決算

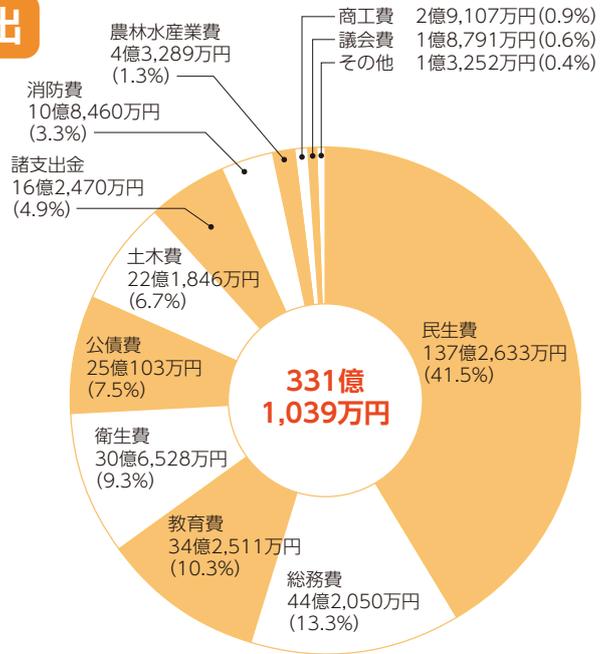
一般会計歳出331億1,039万円を認定

令和6年度一般会計は、委員17人による決算審査特別委員会(委員長 内藤議員、副委員長 加藤議員)を設置し、9月25日から10月1日までの延べ5日間、審査を行いました。決算審査特別委員会で審査後、討論の末、認定となりました。

歳入



歳出



令和6年度 会計別決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度への繰越財源	実質収支額	
一般会計	350億9,292万円	331億1,039万円	19億8,253万円	2億4,020万円	17億4,232万円	
特別会計	国民健康保険	66億1,792万円	65億7,388万円	4,404万円	0円	4,404万円
	後期高齢者医療	12億9,533万円	12億9,293万円	240万円	0円	240万円
	介護保険	58億2,498万円	57億2,165万円	1億333万円	0円	1億333万円
	介護サービス	1,665万円	1,600万円	※64万円	0円	※64万円
	地域し尿処理施設	1,158万円	1,005万円	153万円	0円	153万円
	農業集落排水事業	915万円	837万円	78万円	0円	78万円
	宅地開発事業	4億2,532万円	2億5,696万円	1億6,836万円	1億6,836万円	0円

※金額は千円単位を四捨五入しているため、各項目を用いた計算と差引額および実質収支額が一致しない場合があります。

会計名	収益的収入および支出		資本的収入および支出		
	収入	支出	収入	支出	
企業会計	水道事業	10億4,867万円	8億25万円	3億3,734万円	8億5,941万円
	簡易水道事業	9,801万円	9,343万円	4,485万円	7,407万円
	下水道事業	17億7,942万円	16億7,989万円	9億2,481万円	14億4,029万円
	戸別合併処理浄化槽事業	2,813万円	2,687万円	216万円	614万円

※ 企業会計での支出額に不足する額は、過年度分および当年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

主な使い道は次のとおりでした

デジタル化を推進

- ・ **SMART 甲斐プロモーション：1億1,578万円**
窓口申請のデジタル化やAI・RPA等活用経費、財務会計・電子決裁等の統合内部情報システムを導入しました。
- ・ **地域公共交通活性化、再生総合事業：1億円**
自動運転実証事業やAIオンデマンド交通実証運行に向けて試乗会など実装に向けた調査・研究を行いました。

これからのまちづくり

- ・ **公園整備事業：1億6,843万円**
篠原地区公園整備工事1工区や子ども体験学習施設遊戯体験スペース・篠原地区公園屋外遊具の設計業務委託を行いました。
- ・ **脱炭素社会推進事業：2億8,282万円**
脱炭素化設備導入に対する補助として、公共施設や民間施設に太陽光発電・EV充電器・照明LED化に係る補助金を交付しました。

工 事

- ・ **公共土木施設災害復旧費：6,451万円**
令和6年8月7日の豪雨災害により被害を受け通行止めとなっている大下条地内の勤進橋において早期に再開できるように設計・測量を行い、橋梁上部の撤去工事を行いました。
- ・ **幹線道路整備費（繰越明許）：1,186万円**
県道甲斐中央線の歩車道と交差点部の拡幅工事に合わせ、建設中の篠原地区公園のメインの進入路となる緑化センター八幡前線の道路改良工事を行いました。

福祉・健康

- ・ **低所得者世帯支援給付金：2億4,240万円**
- ・ **低所得者世帯加算給付金：6,495万円**
物価高騰対策として、住民税非課税世帯、均等割のみ課税世帯に10万円、さらに子育て世帯に加算給付として児童1人当たり5万円を給付しました。
- ・ **定期予防接種：3億1,049万円**
乳幼児や高齢者の予防接種だけでなく、带状疱疹予防接種や子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種など多くの方が予防接種を受けました。

子育て・教育

- ・ **物価高騰対策副食費軽減事業：2,808万円**
物価高騰対策として3歳以上の児童の副食費を上限4,500円で6か月間補助を行いました。
- ・ **双葉西小学校長寿命化改修工事：1億5,708万円**
昭和54年建築から45年が経過し、老朽化が進み、学校施設の長寿命化に向け、校舎・給排水設備・電気設備等の改修工事を行いました。

防 災

- ・ **消火栓負担金：5,001万円**
消火栓設置負担金として7か所の修繕と飲料水兼用耐震性貯水槽の改修工事負担金として竜王小学校他5校の改修工事を行いました。
- ・ **災害対策整備事業：1,062万円**
アルファ米や生活費必需品他の非常備蓄食料等の購入や衛星携帯電話使用料や防災メールの配信システム使用料などに使われました。



予算要望書はいかされた？

令和5年に市へ提出した要望書は次のとおり反映されました

●市単独学校教育支援員等の配置事業について（総務教育常任委員会）

令和5年度の決算額に対して、7,426万円増額の2億3,593万円となり、学校教育支援員及び学力向上支援スタッフ等の適切な配置や、部活動指導員確保などの勤務条件や職場環境の充実が図られ、教職員の負担軽減と子どもたちの学習環境充実に繋がりました。

●福祉施設等への支援金給付について（厚生環境常任委員会）

令和4年度の福祉事業所等緊急支援対策事業で新型コロナウイルスによる影響で光熱費や物価高騰対策として支援金を給付しました。令和5年度以降は国からの交付金がありませんでしたが、今後も国の動向を注視し、必要に応じて要望していきます。

●道水路の維持改修事業について（建設経済常任委員会）

令和5年度の決算額に対して、276万円の減額の6,600万円とほぼ同等ですが、工事件数は昨年度より減っています。物価高騰による工事費の増大に加え、自治会からの申請も増えています。近年の社会インフラ老朽化による事故や災害などは多発しており、道水路の改修は喫緊の課題であり、引き続き予算確保に向けて要望していきます。

一般会計決算について討論がありました

賛成討論

保坂 康 議員

歳入は、定額減税の影響により、市税の調定額が前年度対比3.6%の減となり、収納率については0.06ポイント引き上げたものの、収入済額は前年度対比、3.5%の減額となったが、定額減税による個人住民税の減収分については、定額減税減収補填特例交付金として交付されている。

また、国・県支出金を積極的に活用するとともに、有利な地方債を充当するなど、効果的な財源確保に努めつつ、将来に向かって健全な財政運営を可能とするための、取り組む姿勢は評価できる。

決算は、物価高騰の影響を受けている子育て世帯を支援するための学校給食費や保育園副食費の負担軽減事業や低所得世帯等への給付金事業、DXやGXの推進、篠原地区公園における子ども体験学習施設の整備、学校教育の環境整備など、住みよい快適なまちづくりを目指し、複雑かつ多様化する市民ニーズや、地域の様々な課題に応え、将来の市民生活の安心・安全につながる、効率的、かつ、効果的な予算の執行がなされているものと総括することができる。

また、決算に基づき、市の財政状況を客観的に表す、財政健全化判断比率については、いずれの指標も基準内に位置しており、財政の健全性は確保されていると、監査委員からの意見をいただいております。

このような状況から、本市の目指す将来像である『緑と活力あふれる生活快適都市』の実現に向け、将来を見据えた的確な判断と、臨機応変な実行力を備えた、財政運営に努めることを期待し、以上、賛成討論とする。

反対討論

谷口 和男 議員

令和6年度決算は、歳入約351億円、歳出約331億円、実質収支は17億円の黒字、4年連続の大幅黒字決算である、一般会計の基金は約25億円増加した。基金の積み増しより市民生活の維持向上につながる施策の実施が必要だ。

甲斐市の歳出抑制政策の結果、6年度歳入では、市税収入が減少した。市民の収入は、実質賃金の低下から、名目賃金まで低下傾向だ。緊急に、次の施策実施を求めらる。

第一に、子育て負担の低減を求める。特に、山梨県下で甲斐市と甲府市以外すべての市町村で実施しているすべての児童生徒の学校給食費無償化が必要だ。

第二に、市民の賃金のアップが必要だ、同時に賃金アップさせた企業への支援を求める。

第三に、生活困窮者への給付金の支給と、プレミアム付き商品券も必要だ。しかし、今実施しているデジタル商品券では、高齢者など使用できない人が大勢いる。従来型の紙の商品券での発行を求める。

加えて、住みよい街にとって市民生活を豊かにする公共施設の充実が欠かせない。甲斐市では、6年度1,600万円かけて公共施設再整備等基本構想・基本計画策定支援業務委託を行ったが現在まだ答申は出ていない。拘わらず、釜無川レクリエーションセンターの廃止が決められた。年間3万人が利用していた施設の廃止である。もっと慎重にするべきだった。

以上、反対討論とする。

一般質問

こ こ が 聞 き た い

第3回定例会では、9名の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、次のとおりです。

なお、市議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像の QR コードは
こちら



甲斐市議会 議会中継

検索

一般質問の詳細な内容については各議員の QR コードからご覧いただけます。

一般質問とは、行政全般にわたり、議員個人が執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質することをいいます。



公共施設等総合管理計画の現状等について

山坂 賢太

Q 機構改革による新たな取組体制について。
A 計画の推進にあたり経営戦略課は政策戦略課に改称し、当該計画の推進

は、新設したアセットマネジメント推進課に任せ、組織の再編と共に、体制の充実を図った。

Q 公共施設の延床面積20%削減に対するの現状は。

A 令和6年度末時点で、約1.6%の削減に至っている。

Q 老朽化施設への対応について。

A 周辺施設や類似施設との統廃合や機能集約等も検討しながら更新を進め費用の増加を抑制し、財政負担の平準化に努めている。

Q 体育館等の災害拠点としての施設の安全確保の取組は。

A 各種法令に基づき定期点検や学校施設長寿命化計画等に基づく大規模改修工事を実施し、耐震化や防災対

策、バリアフリー化等に整備を進めている。

Q 小中学校の統廃合の状況は。

A 当面の間、統廃合の検討を要する状況ではない。

Q 今後の施設の在り方と持続可能な運用について。

A 「量の最適化」と「質の向上」を図り、費用対効果、施設の集約や複合化、民間活力の導入や省エネルギー対策、受益者負担の適正化等の対策を検討、運営をしていく。



災害時の避難所として指定されている学校体育館

その他質問事項

- 投票率向上に向けた支援策について
- 高齢者や交通弱者に対しての支援について
- 若年層の投票率向上に向けた施策について



投票を諦めないために

加藤 敬徳

Q 本市では投票について何らかの支援を必要とする場合、係員に申し出ることが出来る人は良いが、そのよう

な事に抵抗感や困難がある人のために、「投票支援カード」などを用い、投票に行くハードルを下げるべきと考えるが、見解を伺う。

A 投票所での選挙人とのコミュニケーションや、何らかの支援を必要とする方の要望に対応するため、よくある問い合わせなどを親しみやすいイラスト等で表記した「コミュニケーションボード」や「投票支援カード」などを活用している事例があることから、市選挙管理委員会では、来年4月19日執行予定の甲斐市議会議員一般選挙からの導入を検討している。

Q 期日前投票に行きたいが、投票所まで移動の手段が無く投票を諦めることが無いよう、期日前投票所を増やす、または車両などを使い最寄りの公民館などで投票できる移動期日前投票所を設けたらどうか。

A 県内他市では、公共施設等に期間開設するといった事例のほか、移動期日前投票車両により、公民館や地区の集会所等を巡回する事例もある。投票環境の充実が選挙における重要な課題の一つであり、先進事例や地域、有権者の意向のほか、メリット、デメリットを踏まえ、今後、調査、研究していく。



その他質問事項

- スクールソーシャルワーカー





公園の現状及び今後の活用方針について

山本 英

Q 市内の都市公園は芝生広場を中心とした構造となっており、個性や特色を感じないが、市の見解を伺う。

A 芝生広場は活用の自由度が高く市民要望も多く、また災害時には避難場所、ヘリポート、仮設住宅建設などにも利用できる重要な空間として整備している。さらに玉幡公園には屋内プール、島上条公園にはテニスコート、やはた公園にはバスケットコートを配置し、現在整備中ののはら公園には体験学習施設やインクルーシブ遊具、イベント広場を備えるなど、公園ごとに特色を持たせた施設を整備しているものと考えております。

Q 公園規模に比べ遊具の数や種類が少なく、市民の期待と現状に乖離がある。パークマネジメントプランに既存公園への遊具増設計画があるのか伺う。

A 現行プランに遊具増設は明記していないが、市民アンケートでも要望が示されており、今後は維持管理・運営の中で利用者の意見を伺いながら検討していく。

Q 遊具更新は同種同等規模とすべきではないか。更新時に地元自治会と協議しているのか伺う。

A これまで協議は行っていなかったが、今後は親しみを持って利用していただけるよう、地元自治会に説明を行いたいと考える。



中下条公園の更新した遊具

その他質問事項

■ 災害対策について



平時からの防災対策

若尾 彰子

Q 避難に支援が必要な住民の避難先や支援者をまとめた個別避難計画策定の進捗状況。

A 毎年、自治会に対して個別避難計画の作成を依頼。令和6年度には新たに5自治会で12人分が策定され、全体では14自治会48人分、策定率は1.64%。

Q 高齢者や障がいのある方が安全に避難できるよう、福祉避難所への直接避難について本市の考え。

A 障がいなどで移動が難しい方にとっては、直接福祉避難所に避難できることが望ましいと考える。しかし対象者の選定や施設との調整など課題もあり、先進事例を参考に研究を進める。

Q 防災情報を迅速に伝達し安否確認等を効率化する防災DXの今後の方針。

A LINE を使い避難所の受付や罹災証明の申請が可能な

自治体があり、本市でも導入準備を進めている。11月の総合防災訓練で実証実験を行う。

Q 避難所を利用しない車中泊への支援について本市の方針。

A 車中泊は健康面などで長期生活には向かないが、実際にはやむをえず車中泊避難を選択することが想定される。市では支援の手引きや他市の事例を参考に、車中泊用のスペース設置や運営方法を検討していく。



避難所での受付の様子

その他質問事項

■ 保育園の環境整備



消防団活動について

清水 和弘

Q 本市における火災発生数の件数推移について伺う。

A 本市における直近3年間の火災発生件数は、令和4年が15件、令和5年が28件、令和6年が11件となっている、平均すると年18件程度の火災が発生している。主な出火原因は野焼きによるものとなっている。法律では原則禁止がされているところから、消防団と連携し火災予防運動などを通じて、周知啓発に努め、火災の減少に取り組んでまいります。

Q 主な出火は野焼きとのことですが、住宅火災の件数はどのくらいあったか伺う。

A 住宅火災につきましては、令和4年が4件、令和5年が9件、令和6年が3件で、幸いにも、人命にかかわる被害は発生いたしておりません。

Q 女性消防団員について伺う。

A 本市の消防団員は令和7年4月1日現在で465人、そのうち女性消防団員は41人で市の職員36人に加え、5人の一般女性の方にも団員として活動していただいております。

Q 本市の女性消防団員比率は県内においてはどのような位置づけか伺う。

A 総務省消防庁が本年8月29日公表、山梨県内における女性消防団員の割合は約1.5%で、これに対して本市の女性団員の割合は約8.8%であり県内27市町村で最も高い比率となっています。



その他質問事項

■ 防災訓練に関する所感を伺う。

■ 防災訓練参加率を伺う。

■ 自治体間の格差について伺う。

■ 家族防災の日制定について伺う。





甲斐市の人口減少及び 少子化対策について

樋口孝之

Q 将来の人口を左右する40歳未満の若者人口がここ9年で2,000人近く減少している。これからの本市の減少対策は。

A 若年人口の増加に向けた施策の推進は、将来の行政運営を左右する重要な要素となっており、昨年度策定した第3次甲斐市総合計画において、人口減少への対応と地方創生を目的とする「まち・ひと・しごと創生法」に基づく主要課題を踏まえ実効性を高めながら進めていく。

Q 理想の人数の子どもを育てたいと願う若者世帯に対する経済的支援は。

A 子育て世帯の経済的負担軽減につなげるため、保育園に通う0歳から2歳児クラスの子どもに対し、国の基準を上回る保育料の軽減を行っている。

Q 保護者の安心につながる小児救急医療体制の整備を伺う。

A 広域的な診療体制の運営に参画しており、初期救急医療及び二次救急医療を提供している。応急処置などの相談先として「小児救急医療相談#（シャープ）8000」というサービスがある。

Q 「心豊かにたくましく未来を生きる甲斐っ子づくり」を目指しているが、各学校での取り組み成果と課題点について伺う。

A 地域人材の協力を得た授業やキャリア教育の充実を図り、児童生徒が将来に夢や希望を持ち郷土への愛着を育む事に努めている。



食生活改善推進員による
小学校での食事マナー講座

その他質問事項

- ルネサスエレクトロニクス（株）の現状と見通し
- 双葉地区拠点工業団地開発整備事業の状況
- （株）サンリオ現在の進捗状況と課題
- 竜王駅北口の駅前広場に隣接する土地の取得に向けた状況



物価高騰下で、 生活困窮者への支援を

松井豊

Q 「生活保護の大幅な引下げは、憲法25条の生存権に反する」として、全国の利用者が国と自治体を訴えた

「いのちのとりで裁判（29都道府県1000人超）」で最高裁第3小法廷は、保護基準引下げを違法とする初の統一判断を下した。とかく政権に忖度する傾向のある最高裁でさえ無視できない状況は明らかで、アベノミクスの誤りの是正及び国の謝罪と被害回復が求められる。10年前と最新の世帯数、人数、内容について伺う。

A 平成26年度末の受給者数は552人で426世帯（内訳略）。令和6年度末の受給者数は688人で554世帯です。

Q 母子世帯の世帯数、人数及び扶養契約と実施状況について伺う。母子世帯は扶養契約1/2・履行1/2と困窮度が高いと言われている。

A 児童扶養手当の申請者数として把握している母子世帯は606世帯・母子1,499人で、養育費受取世帯は30%です。

Q 最も対象者の多い「障害者就労継続支援B型」の市内の平均工賃はいくらか。工賃支援を行う自治体もあるが、市の考えを伺う。

A 市内の平均工賃月額額は2万4,328円です。国のコロナ関連の活性化事業で一定の補助金を交付している。



総務省「2020年基準消費者物価指数」を基に作成

その他質問事項

- 核兵器禁止条約への参加に自治体の努力を
- 茅ヶ岳東部広域農道の全通の日程と市の施策
- 空き家対策でC・D判定の空き家への対応と改善
- 空地・家屋の雑草等の繁茂への対応について



「子どもの権利条例」 制定を議論しよう

谷口和男

Q こどもの権利条約の第一は「差別の禁止である。昨今、〇〇ファーストと差別をあおる主張が目立つ、市の見解を伺う。

A 本市におきましても差別的活動に対しては、毅然とした態度で対応してまいりたい。

Q 生活保護で、外国人が優遇されるのか。

A 国籍等により優遇されることはない。

Q 不登校への市の対応を伺う。

A 本市小中学校では、児童生徒の多様性を尊重し、一人ひとりの実情に応じた適切な支援に努めている。

Q 不登校児の居場所のひとつとして、フリースクールがある、フリースクールの設置に関する補助などあるのか。

A 今年度より「甲斐市フリースクール等利用料助成事業補助金交付要綱」を定め、利用料の一部を補助する事業を行っている。

Q 楽しい授業、学校生活をおくるための取り組みなどは、あるのか。

A 成功体験や達成感を大切に教育活動に取り組んでいる。

Q 甲斐市内にも、子どもの権利条例の制定をめざす団体がある。協力してはどうか。

A 今後、議員の皆様のご協力もいただきながら、調査研究してまいりたい。



川崎市の子どもの権利条例

その他質問事項

- 予算編成においては、前年度決算の反映を求める
- 公共施設20%削減が、サービス低下にならないよう





戦後80年を迎えて

Q 甲斐市では、平和教育をどのように行っているのか。

金丸 寛 A 本市では、非核平和推進事業として、終戦記念日に合わせ、市民をはじめ児童・生徒を対象とした戦争・平和に関する朗読会や映画の上映会及び写真展を開催し、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ機会を提供しております。また、本市小中学校における平和教育は、各教科や道徳の授業において戦争と平和について学ぶほか、地域の戦争経験者を招いて直接お話を伺う「戦争体験を聞く会」を実施している学校もあり、児童生徒が身近な人の経験や思いを肌で感じ、戦争と平和を自分の課題としてとらえる機会ともなっています。

Q 「戦争体験を聞く会」を実施している学校はどのくらいあり、市全体の小中学校に拡げていくことは考えられないか。

A 本市小学校4校において実施されています。地域の戦争体験者や遺族の方の話に、子どもたちも真剣な表情で聞き入っているとのこと。体験を直接聞く会のほか、山梨県遺族会から寄贈頂いた寄稿集「戦争を知らない世代へ」の活用など、各学校の実情に応じた

様々な形で平和教育を展開できるよう、小中学校に指導してまいります。



戦争・平和に関する朗読会

その他質問事項

- 戦争体験をされた市民は現在どのくらいか
- 参議院選挙結果を市長はどう感じたか
- 国の米増産発表を市はどのように思うか
- 農道・水路の整備により多くの予算配分を



行政視察を受け入れました

令和7年7月25日

栃木県さくら市議会 議会広報委員会(10人)

さくら市議会広報委員会の8名と事務局2名の10名が甲斐市を訪れ、「市議会だよりと各種団体との意見交換会」について、活発な意見交換が行われました。



14 甲斐市議会だより

令和7年8月18日

宮城県気仙沼市議会 総務教育常任委員会(9人)

気仙沼市議会総務教育常任委員会の7名と執行部1名、事務局1名の9名が甲斐市を訪れ、「甲斐市創甲斐教育推進大綱、県の25人学級の導入状況」について、活発な意見交換が行われました。



議会だよりのアンケートを募集します！

もっと
もっと



前号では11件の回答をいただきました！
ありがとうございます！

かいギカイを読んでいただきありがとうございます。今後の市議会だよりの編集にいかすため、アンケート調査を実施することにしました。皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

実施期間 2025 **10.25** (土) ▶ 2025 **11.30** (日)

回答はこちらのQRコードからお願いします▶



表彰式に出席してきました

令和7年度山梨広報協会総会（令和7年8月4日開催）において、令和6年度山梨県広報コンクール入選作品表彰式が行われ、「甲斐市議会だより（かいギカイ）No.79（令和6年4月25日発行）」が令和3年・4年の最優秀賞に続き、最優秀賞を受賞しました。

今後も、この受賞を励みに皆様に親しまれる紙面づくりに取り組んで、「開かれた議会」を着実に進めこれまで以上に情報発信に努めていきますので、引き続き「甲斐市議会だより（かいギカイ）」をよろしくをお願いします。



甲斐市で頑張る皆様の活動を紹介してみませんか？

特集「輝く仲間たち」として、市内で活動している方（団体）を、年齢・性別・職種等を問わず、活動内容を掲載しています。

詳しくは、市議会ホームページまたは、議会事務局まで問い合わせください。

甲斐市議会事務局 議事運営係
TEL 055 (278) 1673



甲斐市議会だより No.84

議会を傍聴してみませんか！

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。また傍聴席には字幕モニターを設置しておりますので、ご活用ください。

令和7年 第4回定例会 の日程（予定）

※日程等に変更がある場合
もあります。

※傍聴に際し、手話通訳が
必要な方は、障がい者支
援課へお申込みください。

TEL.055-267-7287
FAX.055-276-2113
メール: kai-shuwa@i.softbank.jp

日	月	火	水	木	金	土
12/7	8	9	10 本会議 (議案上程等) 10:00~	11 厚生文教常任 委員会 9:30~ まちづくり環境 常任委員会 13:30~	12 総務常任委員 会 9:30~	13
14	15 委員会予備日	16 本会議(採決・代 表質問) 10:00~	17 本会議(代表質 問) 10:00~	18 本会議(一般質 問) 10:00~	19 本会議(一般質 問・採決等) 10:00~	20

甲斐市商工会「かいてき住まいの応援団」相談窓口

住まいのお困りごとは、信頼の地元業者で！

家のリフォームから、
造園・外構・快適住環境整備まで
あらゆる住まいの相談にお応えします！
ご相談は、商工会へ！



- 新築改築
- 外壁工事
- 内装工事
- 造園外構
- 水廻り工事
- 電気工事
- 快適環境

【ご相談窓口】 甲斐市商工会 経営支援課
甲斐市篠原2710-1 ☎055-276-2385
<http://www.kai-shokokai.jp/sumai/>



有料
広告
告知

人と人の中に生まれる 恩恵と感謝のサービス

プリンティング総合事業

- PRINTING 印刷
- DESIGN 企画・グラフィックデザイン
- MULTIMEDIA マルチメディア企画
- PROMOTION 販促ツール
- LOGISTICS ロジスティクス
- SIGNBOARD 看板・巻紙

TAKEMARU 株式会社たけまる
https://takemaru.net
〒400-0105 山梨県甲斐市下今井3539
TEL 0551-28-4655 FAX 0551-28-4590

土地・建物の登記のことは 土地家屋調査士にお任せください。

土地家屋調査士 秋山信仁事務所

〒400-0117 山梨県甲斐市西八幡2599-1
TEL 055-276-9584 FAX 055-276-9582
E-mail nh-akiyama@festa.ocn.ne.jp



有料広告募集中。

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、
市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)

議会広報常任委員会

- | | |
|------------|----------|
| 委員長 保坂 康 | 委員 加藤 敬徳 |
| 副委員長 安倍 健治 | 委員 谷口 和男 |
| 委員 若尾 彰子 | 委員 小澤 重則 |

甲斐市議会だよりの有料広告に
関するQRコードはこちら

